

富士章記念品授与・隼章伝達・菊章伝達・ハイク200伝達

富士スカウト章記念品 が

7月12日 荒川 毅さん(杉並11団)に授与されました。

菊スカウト章 が

7月12日 平井 翔さん(杉並11団)に伝達されました。

プラチナアワード ハイク200 が

7月12日 時任 佑弥さん(杉並6団)に

8月18日 立園 一誠さん(杉並6団)・三枝 成海さん(杉並6団) 伝達されました。



富士スカウト章伝達式 東京連盟スカウト会館

7月4日 **富士スカウト章** が荒川 毅さん(杉並11団)に伝達されました。



7月4日 東京連盟での富士スカウト章伝達式



地区指導者セミナー 7月5日 中野区産業振興センター

2025年度地区指導者セミナーが中野区産業振興センター多目的ホールで開催されました。今回のテーマは「特別な支援が必要な子供の対応について」。東京連盟から村山大介さんを講師にお招きし、地区各団の指導者や団委員など関係者60名が受講しました。

講師の村山大介さんは、日本ボーイスカウト東京連盟の県コミッショナーであると共に、ご職業として都立葛飾特別支援学校の校長を務められています。スカウト活動は全ての子供たちを対象としています。様々な個性を持つスカウト達とどのように接し支援すべきか、事例等を交えながらご教示頂きました。



アンケートでのご意見・ご感想・ご質問など（一部抜粋・要約）：

- ・スカウトの時に発達障害と診断されていた。参加できて良かった。
- ・身近な問題なのでグループなどで意見交換してみたかった。参加者同士で考えることも大切。
- ・隊指導者の中には受け入れたくないと思う者も多いのではないか、どのように団が支援すべきか。
- ・特別な支援が必要なスカウトの周りにいる者がどのように対応すべきか、もっと聞きたかった。
- ・スカウトに特別な支援が必要な場合、誰にどこまで情報を共有すべきか知りたかった。
- ・自身の子供に特性があります。勉強になり励まされました。保護者の皆さんにも受講機会を。
- ・個性を認め必要以上に特別扱いせず独りぼっちにしない。指導者として出来る事を改めて考えたい。
- ・好事例、失敗談、体験談などを沢山知りたい。このような機会をまた設けてもらいたい。



大変多くの方々が参加、講演後の質問も時間の関係で打ち切らざるを得ないほどであり、関心の高さが伺えました。事前に質問を募り講演内で一部回答も頂きましたが、それでもアンケートで多くの意見・質問の記載があり、今後継続の要望も多くありました。

団担当コミッショナー 下地 俊一

ワールドベンチャーキャンプ 2025 7月27日～8月6日 アメリカ合衆国

ワールドベンチャーキャンプ2025（東京連盟海外派遣事業）がアメリカ合衆国で開催され、東京連盟各団からスカウト14名と指導者3名が参加。あすなろ地区から園川 健太郎さん（杉並5団）・田村 哲大さん（杉並9団）・伊藤 璃子さん（杉並13団）3名のベンチャースカウトが参加しました。



7月27日に羽田を出発し、8月2日までミシガン州のオワシッペ・スカウト・リザーベーションにて現地のスカウト共に広大な自然の中でキャンプ生活を過ごした後、イリノイ州シカゴの歴史的建造物の見学、野球観戦、シースカウトとの交流、街の多様な文化や食文化を体験してきました。



このキャンプを通して、アメリカの歴史と社会の広がりを感じると共に、現地の人々との交流や日常的な会話を通じ、異文化理解と国際感覚の涵養にもつながることができました。

ワールドベンチャーキャンプ 2025 IN アメリカ (WVC2025)

WVC2025派遣スカウト レポート (要約)

伊藤 璃子 (杉並13団ベンチャー隊)

初めての海外派遣ということもあり緊張もありましたが、それ以上に**楽しみな気持ちで参加**しました。現地ではメリットバッジ取得のためのアクティビティに挑戦したり、日本ではなかなか出会えないアメリカの大自然を体験したりと、**毎日が新鮮**でした。また、アメリカのスカウトとの交流を通して、**文化や言語の違いを感じながらも、一緒に活動する楽しさを知ることができ、とても貴重な時間**になりました。最初は言語の壁に苦戦しましたが、**思い切って挑戦**することで少しずつ慣れ、最後には自信を持って楽しく過ごすことができました。**今回の経験をこれからのスカウト活動にもつなげていきたい**と思います。



田村 哲大 (杉並9団ベンチャー隊)

私はWVC2025で、キャンプファイヤー、プログラム、友情などの**日本とは異なった価値観を呈する様々なことに刺激を受けました**。特に印象的だったのはキャンプファイヤーとプログラムです。アメリカのキャンプファイヤーは入りが盛大にそして終わりは日本と同様に静かに終わります。キャンプファイヤー以外にも例えば朝は音楽をかけて盛り上がるなど、始めにテンションを上げるスタイルがメジャーで、**とても楽しい気分**になりました。**プログラムはベンチャースカウトが主体的に運営し後輩スカウトを指導する形式**でした。大人はほとんど関わらないスタイルは新鮮で非常に刺激になりました。これらの経験から、私は今後のスカウト活動において、**自分の興味のあることや将来に関連することにプログラムとして積極的に取り組み、アメリカのスカウトのように後輩指導をしている姿を目指したい**です。



園川 健太郎 (杉並5団ベンチャー隊)

WVC2025に参加し、**かけがえのない経験**をすることができました。アメリカのスカウトとの交流を通じて、**彼らが「結果よりも過程を大切にしている」姿勢に強く心を打たれました**。挑戦そのものを楽しみ、仲間と協力する過程に価値を見いだす姿は、**私自身の活動のあり方を見直すきっかけ**となりました。また、**多くの人々と出会い、文化の違いを超えて理解し合えたことは大きな財産**です。今回の派遣にあたり、高額な費用を支援してくれた両親や、推薦してくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、これからの活動に活かしていきたいです。そして**後輩のスカウト達にも、是非海外派遣などに挑戦して同じように学びを得てほしい**と願っています。

隅田川花火大会奉仕 7月26日 浅草 言問橋

隅田川花火大会に10名（VS3名・RS4名・指導者3名）が奉仕。16：30に雷門前の浅草文化観光センターに集合。出発式で誘導と警備の注意点を聞いた後、あすなろ地区受持ちの言問橋に移動、見学者の誘導をしました。100万人近い人出があり大混雑でした。最高の場所で花火見放題の特典付きでした。



ブリーフィング



持ち場は言問橋



見学者の誘導

隅田川灯籠流し奉仕 8月16日 浅草 吾妻橋

隅田川とうろう流しに9名（VS4名・RS1名・指導者4名）が奉仕。16：30に吾妻橋西詰の観光汽船乗場に集合し参加者誘導の要領を聞いた後、あすなろ地区の持ち場に移動。とうろう流しを待つ方々は長蛇の列で誘導終了の20：30まで途切れる事はありませんでした。



出発式



長蛇の列



隅田川の川面

浅草サンバカーニバル奉仕 8月30日 浅草

浅草サンバカーニバルに3名（指導者3名）が奉仕。開会から17：00の終了までプラカードや移動ルートの警備と誘導に当たりました。猛暑でしたが沢山人出がありました。



役割分担と打ち合わせ



浅草寺裏のバックヤード



サンバの様子（公式HPより）

夏の浅草の3イベントは天気にも恵まれ大盛況でした。特に外国からのお客さんが多く、制服のスカウト達は道案内のターゲット。期せずして国際交流。しっかり英語で応戦していました。通じてましたよ。

東京連盟アフターフォーラムアフター 9月7日 第四日野小学校（品川区）

東京連盟アフターフォーラムアフターが品川区の第四日野小学校で開催され、都内7地区から17名のベンチャースカウト（VS）が集結。あすなろ地区からは、高木 航太郎さん（杉並11団VS隊）・長坂 晴子さん（杉並12団VS隊）・伊藤 璃子さん（杉並13団VS隊）の3名が地区代表として参加しました。

VSのアフター・フォーラム・アフターとは・・・ややこしいので順を追うと

2024年 6月：地区フォーラム テーマに基づき、高校生が出来る地域社会奉仕について話し合う。

2024年 9月：東連フォーラム 地区で話し合った内容を報告。討議により東連採択文を作成

2024年11月：全国フォーラム 東連採択を発表。各県連代表の討議により提言文を作成

2024年12月：東連アフターフォーラム 提言文を受け東連共通課題を選定

2025年 6月：地区フォーラム 東連共通課題の具体的展開をプロジェクトとして計画

2025年 9月：東連アフターフォーラムアフター 各地区のプロジェクト取り組みや成果を発表

2025年11月：全国アフターフォーラムアフター 各県連の取り組みや成果を発表（予定）

・・・という2カ年に渡る、高校生（VS）としての社会貢献をテーマとした活動です。



あすなろ地区の発表

あすなろ地区代表の3名は、6月の地区フォーラムで団を超えて計画した5つのプロジェクトのアクションプランと進捗について発表。発表後のグループディスカッションでは各地区で取り組んでいる社会貢献プロジェクトの情報共有や意見交換を行いました。



ローバー先輩の活動紹介



東京連盟コミッショナー村山大介さんの基調講演「誰もが自分らしく輝けるスカウト活動へ」やローバー先輩の「能登半島震災支援」や「世界ローバームート」の参加体験談などにより、より良き社会を築いていくためのスカウトとしての行動が示されるなど充実したミーティングとなりました。

地区パイオニアリング訓練 2025

パイオニアリング事前集会 9月6日 中野ZERO



中野ZEROでの事前集会で信号塔の材料表・組立図・安全計画書を作成。模型作成の課題が出されました。



組立図・材料表の作成



安全計画の講義

パイオニアリング訓練 9月21日 ひよどり山キャンプ場

ひよどり山キャンプ場でパイオニアリング訓練が行われました。BS6名・VS3名が参加。台形信号塔を1基製作しました。梯子を取り付け、全員が安全に高さ5mの信号塔に上ることができました。



事前課題の模型



信号塔の組み立て



信号塔完成



修了証授与

ローパー3名と成人リーダーの指導の下、スカウト達はチームワークで立派な台形信号塔を完成させました。使用したロープは昨年回収したナイロン製でしたが、過不足なく頑丈に信号塔を作成することができました。本年もロープを全て回収し次回に備えました。事故やケガが無く予定通りの時間で完了しましたのは各団指導者のご協力の賜物と感謝いたします。

実行委員長 古川 久生

地区野営管理章訓練 9月20日-21日 ひよどり山キャンプ場



地区「**野営管理章訓練**」がひよどり山キャンプ場で開催され、**バンチャー7名・ボーイ3名**が受講。
ローバー（RS）の先輩達3名が講師となり、講義を受け持ち実習の指導にあたりました。

先立つ事2週間前の9月7日。参加者は**WEB**での学習会で「**野営地選定と事前調査**」「**事故への備えと対処方法**」「**安全管理**」「**装備のメンテナンス**」などを学び、準備万端で訓練に臨みました。



WEB学習会



開会式



事前の学習会で準備した「**野営地調査**」を実施。「**国旗儀礼**」を復習。「**朝礼**」「**営火**」の講義/計画書作成と実習。「**点検**」実習は杉並13団と杉並11団のボーイ隊にご協力を頂きました。



RS先輩の講義



談話型の営火を体験



夜の点検

2日目は早朝から「**朝礼**」「**スカウト・OWN・サービス**」「**朝の点検**」の講義と実習



スカウトによる朝礼



スカウト・OWN・サービス



朝の点検



修了証授与



「**野営管理章訓練**」で学んだ**スカウトキャンプの基礎**を活かし、**安全で有意義で楽しいキャンプ**を展開してください。準備を重ねて講師を務めてくれた**ローバーの皆さん**に感謝です。 実行委員長 永倉 実

地区ビーバーラリー 9月28日 中野第一小学校

中野第一小学校に9個団のビーバー隊170名が参集し、あすなろ地区ビーバーラリーが開催されました。今回のテーマは「**あすなろばんぱく2025**」。たくさんの仲間と楽しい活動になりました。



♪みんなで大～きな輪を作ろう



RS兄弟姉のスタンツ



混成グループ作り

全体ゲームで盛り上がったビーバー達は**団を越えた混成グループ**に分かれ、保護者の皆さんと各団が工夫を凝らした**7つのゲームコーナー**を巡りました。



ビーバー達は**楽しいゲーム**で大はしゃぎ。グループ仲間とルールを守り一所懸命にチームワークで・・・コーナーを巡り終るころには**団を越えてビーバー達はすっかり仲良し**になりました。



短い時間でしたがラリーを通じてスカウト/保護者/指導者を問わず「**相互交流と新たな絆**」が結ばれましたら幸いです。企画からご協力頂いた各団の皆様へ感謝いたします。 BVS部門担当副コミ 清田 義隆